

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 への転換に向けた老朽化対策

3 (1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化

(2) 災害関連情報の予測、収集・集積

排水機場の新設により、湛水被害を防止する (福岡県久留米市)

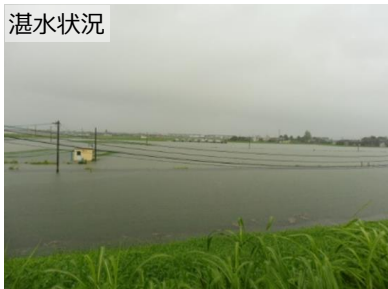
事業者：福岡県

<新設した西ノ島排水機場>



<対策前後の状況>

対策前 (令和2年7月豪雨)



(最大48.0mm/h)

対策後 (令和5年7月豪雨)



(最大51.0mm/h)

対策名：1-5 流域治水対策（農業水利施設の整備）



農業

主たる施策グループ：1-4 突発的又は広域的な洪水・高潮に伴う長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生（ため池の損壊によるものや、防災インフラの損壊・機能不全等による洪水・高潮等に対する脆弱な防災能力の長期化に伴うものを含む）

事業名：西ノ島排水機場建設事業

- ポイント
 - 湛水被害が生じた地域に湛水被害防止を目的として排水機場を新設
 - 令和5年7月豪雨での上流部越水の被害を防止

地域の概要・課題

福岡県久留米市の浮島地区は筑後川とその支流に囲まれた低平地であり、地形的な特質から大雨時に排水が効かず湛水している状況でした。

特に近年では令和2年7月豪雨（最大降水量48.0mm/h）において地域の農地が湛水し、地域の農業に大きな影響を及ぼしました。

効果

排水機場の新設による排水能力の強化を行ったことで、令和5年7月豪雨では最大降水量が令和2年7月豪雨よりも多い51.0mm/hでしたが、農地及び宅地への湛水被害を未然に防止することができ、地域の安全・安心の確保に寄与することができました。

事業の概要

低平地における湛水被害を解消するため、排水機場の新設工事を実施し、令和5年4月に計画排水能力3.4m³/sとなる西ノ島排水機場を新設しました。

<浮島地区の浸水推定図>

【対策前】令和2年7月豪雨

【対策後】令和5年7月豪雨

